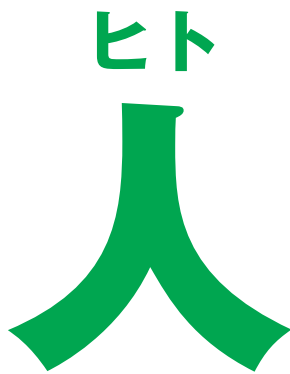




田中みきお の約束

～セカンドステージへの政策集～



に やさしいまちづくり
が がんばるまちづくり
を 幸せにするまちづくり

2012

田中幹夫

◆ファーストステージの総括（2008.11～2012.10）

「このまちに生まれてきて良かった」そんな南砺市をつくるには、住民幸福度・住民満足度を高めることを目指し、「不信・不満・不安」「不自然」の「不」を取り除く行政をと「信頼・満足・安心」そして「自然」なかたちで、市民が主役、市民目線の行政、協働のまちづくりを進めてまいりました。

リーマンショックによる世界的な経済不況の影響が地域経済にも大きな打撃を与え、国政においては政権交代という大きな変革に国民の期待は大きかったものの、内政、外交においてもさらに不安定な政治情勢となってきております。そんな中昨年3月11日に発生した東日本大震災という未曾有の国難により、地域経済は更なる大きな影響を受けました。

一方人口減少、少子化高齢化がさらに進んでいることから、地域構造や産業構造まで広範囲にわたって影響をきたしており、持続可能な地域社会をつくるためにも、従来のまちづくりの仕組みから新たな仕組みをつくることと、行財政改革を更に進めて行かなくてはなりません。

そんな中で山積する地域の課題を市民と行政が共に協働で取り組む仕組みづくりを提案し、少しずつその方向性が理解され、動きはじめてきていると実感しています。

【4年間の総括】

1、まちづくり基本条例施行に伴い協働のまちづくり手法が明確になってきました。

31自治振興会単位で「地域づくり談議」を3回ずつ開催し、それぞれの地域の課題を地域で考える体制ができました。そして平成24年7月1日より施行された「南砺市まちづくり基本条例」によってまちづくりの仕組みが明確になりました。

今後は地域内分権制度を拡充し進めていかななくてはなりません。

2、市民と行政が協働で課題解決を進めるための方法が見いだされてきました。

協働のまちづくりモデル事業、集落支援員派遣事業、協働のまちづくり支援センターの設置、提案型事業や七転び八起き塾の開講等による事業展開によって市民と行政の協働による課題解決方法が理解されつつあります。

3、自治振興会単位でのまちづくり活動が活発化してきました。

もともとがんばる自治振興会応援プログラムを実施してきましたが、これを継続できるよう地域づくり交付金を創設、拡充することにより様々な取り組みが出てきています。そして31自治振興会を廻り地域づくり談議を開催しながら地域の課題や問題を誰がどのように解決すべきか話し合ってきました。そして行政としても地域づくり支援員を利用しての活動が活発になってきました。

4、志民の協働活動が活発化してきました。

リーダー養成事業七転び八起き塾、アグリビジネスを考えるなんと里山塾、丸の内朝大学での地域プロデューサー養成講座、コミュニティービジネス起業講座事業、南砺市まちづくり基本条例策定時等に集まった市民会議のメンバー等様々な市政に参画してきた皆さんの活動が更に広がりを見せてきていることは大変うれしいことです。

東海北陸自動車道の南砺スマートインターチェンジ設置工事着手や北陸新幹線の金沢開業が見えてきたことや富山空港への海外定期便の増加、富山伏木港へのクルーズ船等富山県が進める「陸・海・空」の交通網が確立しつつある中での新たな戦略へのスタートを切ることもできました。まずは南砺市を知って頂き、イメージをさらにアップさせ、国内外からの誘客を図るために家庭画報インターナ

ショナルやディスカバージャパン、更に現在作成中の南砺の魅力を写真とエッセーで発信するビジュアルブックなど、今までと違った形で世界へ情報発信させて頂きました。

一方で常備消防の広域化を進め、2012年4月からは砺波・小矢部・南砺の三市による砺波地域消防組合を発足、さらに高度な消防防災行政に取り組むことができました。併せて消防署所再編の議論を進め、平野部に基幹署と防災センターと出張所の二署所建設を進めていきます。

また、合併直後から保育園を統合する議論を進めてまいりましたが。現在統合保育園2園を開園し、2園が建設中であり、来年度4月より開園する予定です。残り2園についても建設予定地が決まり順調に進んできております。多様化する保育ニーズに対応することはもちろん、子育て支援センターも併設し、未就園児へのサポートなど広い意味で子育て環境の充実をはかってきています。

過疎地での少子化に伴う教育環境の改善を図るために小中学校の統廃合を行ない、現在も平・上平統合小学校建設を進めています。また、中学校での複式学級の解消についても取り組んでおります。

合併して二期目のこの4年間は、合併というスケールメリットを活かすことはもちろんですが、地域格差の是正や、すべての市民の皆さんに役場が遠くなったと思わせたくないような工夫のほか、さらに行政が市民の中に入ることで、顔の見える行政運営に心がけました。

また財政的には計画的に市債を減らし、実質公債費比率を抑え、財政健全化を進めました。市債の全体残高は平成20年度末945億から平成23年度末には865億になる見込みで80億円を縮減。うち一般会計ベースでは平成20年度437億だった市債は平成23年度末で416億となり、21億円を縮減でした。

基金は財政調整基金を20億、減債基金を35億積み増しもさせて頂きました。合計しますと135億の成果となりました。

財政状況を表す指標として私たちが一番重要と考えている実質公債費比率は平成20年度では19.8%から平成23年度末では12.4%と順調に減らすことができました。

第2次南砺市行政改革実施計画を9月に策定し現在積極的に進めています。また公共施設の再編についてもまずは二つのスキー場を廃止する方向性を打ち出し、地域審議会の皆さんと共に地域振興策の検討に入ります。

しかしながらまだまだ厳しい財政状況の中、公共施設の存廃や行政評価についてもすべての事業で行い、優先順位の明確化等、行財政改革は止まること無く進めていかななくてはなりません。

◆セカンドステージへ向けて（2012.11～2016.11）

「さきがけて 緑の里から 世界へ」という南砺市の将来都市像の実現に向けて、豊かな自然環境、伝統に育まれた文化など豊富で多彩な地域資源を活かしながら、市民と行政が手を携えて、協働のまちづくりを着実に進めます。

日本は東日本大震災という未曾有の国難からの復興と、東京電力福島第一発電所事故から新たないのちの紡ぎ直しやエネルギーへの転換の議論が進んでいます。私たちは真の幸せとは、豊かさとは、大切なものとは、次代に残すべきものとは何かを改めて考え直し始めました。南砺市には自然環境、歴史、文化、産業、エネルギー資源等豊かな地域資源があることをもう一度考え、活かし、「ヒトづくり、モノづくり、コトづくり」に取り組み、地域の発展・活性化と持続可能なまちづくりに繋げていきます。

私はこのような時代だからこそ首長の「行動と連携」が大切なのだと思います。覚悟を持った行動、決断。そして市民の皆さんや企業の皆さんと、他自治体首長の皆さん等と連携し、南砺市民の「幸福度・満足度」向上に繋げることが大切です。

本市を取り巻く現状は、人口減少や過疎化・少子高齢化の進行、多発する自然災害と安全意識の高まり、地球規模での環境問題の深刻化、経済情勢の悪化、厳しい財政状況等様々な分野において多く

の課題を抱えています。

そんな中で北陸新幹線の金沢開業や東海北陸自動車道の南砺スマートインターチェンジの開設など地域経済にとって大きなチャンスが訪れようとしています。そしてこの南砺には可能性が無限にあります。このチャンスを最大限に活かしながら未来に向かって進んでいきたいと思えます。

総合計画後期に向けた課題として次に七項目を掲げています。

- ・人口減少、過疎化の進行による地域活力の低下
- ・少子高齢化の進行による福祉、介護、保健、医療などの社会システムの変化
- ・環境問題への意識の高揚による低炭素社会、循環型社会への対応
- ・災害対応や防犯対応策など安全安心な住環境づくりの推進
- ・市民と行政の協働によるまちづくりへの意識の向上
- ・景気低迷などによる国・地方財政の悪化や閉塞感
- ・東海北陸自動車道の開通や北陸新幹線の開業などへの対応

このほかにも南砺市の次代を見据えた持続可能な市政運営のために行財政改革の断行といった課題もあります。そういった課題問題解決の方向性を示すのが「南砺市総合計画後期基本計画（H24～H28）」であり、そこに掲げられた「誇り」「元気」「共生」の視点での重点施策を実行し、行財政改革や既存事業の見直し等積極的に進めながら、限られた経営資源を有効に活用し、活力に富む南砺市をつくりまします。また、「南砺市まちづくり基本条例」の遵守はもちろん、市民と行政が情報を共有し、対等な立場で基本構想で掲げた将来都市像の実現に向かって着実にまちづくりを進めます。

◆セカンドステージへ向けて取り組み

●南砺市総合計画後期基本計画を着実に進めていきます。

【将来都市像】

「さきがけて 緑の里から 世界へ」

美しい日本の原風景が息づく南砺市。

世界遺産・五箇山合掌造り集落やおだやかな散居の自然環境。

日本や世界の各地へ活発にネットワークを広げ、進取の気風に富む南砺市から新しい文化と産業がはばたく。

世界に誇れるどこにもない都市をつくるため、市民と行政がともに夢や目標に向かって果敢に挑むまちづくりの姿がここに 있습니다。

【基本目標】

美しく住みよいまち

創造的で元気なまち

開かれたふれあいのまち

【基本方針】

自然に優しい住みよいまちづくり

安全で快適なまちづくり

健やかなやすらぎのまちづくり

心豊かで創造的なまちづくり

いきいきとした活力あるまちづくり

市民と行政の協働のまちづくり

健全で開かれたまちづくり

1、「誇り」安心・定住

人口の減少が著しく、高齢化率も全国平均を上回っています。

豊かな自然、世界遺産をはじめとした貴重な観光資源、充実した子育て環境等、内外に誇れる豊かな生活環境をより充実させながら、安全で安心して暮らせるまちづくりを進め、定住化の推進を図ります。

☆公共交通ネットワークの充実

- ①JR城端線活性化を推進します。
 - ・城端線・氷見線地域公共交通総合連携計画の推進
- ②二次交通網（バス・レンタカー）を拡充します。（金沢福光間 城端・五箇山・高山間）
 - ・二次交通網の整備促進（バス実証実験運行事業、世界遺産乗り継ぎキップ事業）

☆消防・防災体制の充実

- ①消防・救急体制を充実します。
 - ・消防署所の再編と消防力強化
（基幹消防署と防災センター、出張所の建設 H27完了）
 - ・消防施設（消防水利等）の充実（市街地に防火水槽設置）
- ②防災体制・防災行政無線等を整備・充実します。
 - ・市内全域での防災体制の整備と連絡網の整備
 - ・地域防災計画の定期的見直し（地震編・原子力災害編）
 - ・防災行政無線の維持管理とデジタル化

☆高齢者福祉の充実

- ①介護施設を整備・充実します。
 - ・認知症高齢者グループホーム整備事業
 - ・小規模多機能型居宅介護整備事業
 - ・介護あんしんアパート整備事業
- ②通所系介護サービスを充実します。
 - ・富山型デイサービス整備事業
- ③在宅介護・福祉サービスを充実します。
 - ・在宅生活支援サービス
 - ・家族介護支援サービス
- ④高齢者の相談・支援体制を充実します。
 - ・身近な高齢者の総合相談窓口の拡充、多職種協働による支援体制の充実
 - ・認知症サポーターの増員、徘徊高齢者SOS緊急ダイヤル協力事業所の普及拡大
 - ・地域包括医療ケア体制の推進（介護保険推進全国サミット in なんとの開催 H25）

☆健康づくりの推進

- ①保険事業を推進します。
 - ・各種健康審査の充実と推進
 - ・母子保健事業の関係機関との強化充実

②健康づくり事業を推進します。

- ・健康プランの策定
- ・健康づくりボランティアの養成、地区組織の育成と活動支援
- ・心の健康づくりの推進と自殺予防対策の推進

☆医療体制の充実

①診療体制を充実します。

- ・基幹型臨床研修病院として総合診療医育成体制の整備充実及び研修医の確保
- ・砺波医療圏医療情報の連携（電子カルテ更新）

②施設整備と医療機器を導入・更新します。

- ・南砺市民病院 → 病院耐震化事業、耐震化事業に伴う手術室の新設更新、医療機器更新(MRI等)
- ・公立南砺中央病院 → 開院時導入医療機器の更新（X線装置等）

③地域包括医療ケアシステムを構築します。

- ・介護保険推進全国サミット in なんとの平成25年度開催

☆定住化の推進

①定住促進への支援をします。

- ・南砺市定住奨励金事業の推進・拡充
- ・雇用の場の確保や子育て環境の整備などの定住環境の総合的推進

②結婚活動への支援をします。

- ・「婚活倶楽部なんと」「婚活応援団なんとおせっ会」の加入会員数の増加と事業内容の充実

③山間過疎地域対策を推進します。

- ・山間過疎地域振興条例制定と振興事業の展開
- ・過疎債を活用したソフト事業の充実

2、「元気」産業・子育て・人づくり

活力の源である「ひと」「もの」の交流を支える社会基盤を充実して産業の振興による雇用の創出と若い世代への就業支援によるIJU（いじゅう）ターンを促進し、観光資源や地域資源を活かして交流人口の拡大に努めるとともに、明日の南砺市を担う子どもたちを社会全体で守り、育て、元気になるまちづくりを進めます。

☆自然環境の保全と活用

①豊かな森づくりを推進します。

- ・クマとの共生、有害鳥獣捕獲等事業
- ・水と緑の森づくり事業
- ・カシノナガキクイムシ被害対策事業

☆道路・交通ネットワークの充実

①東海北陸自動車道を整備促進します。

- ・小矢部砺波JCT～飛騨清見IC間の早期4車線化
- ・（仮称）南砺スマートICの早期完成（H26年度末までの供用開始）
- ・（仮称）南砺スマートICへのアクセス道路の整備促進（一般県道安居福野線）

- ・（仮称）城端スマート I C の設置の実現
- ②道路網の整備促進をします。
- ・都市計画道路や幹線道路等の整備による利便性の向上
 - ・道路網整備計画に基づく着実な道路整備の促進
 - ・橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁補修の推進
 - ・市道の適切な維持修繕

☆子育て環境の充実

- ①保育園の整備を進めます。
- ・認定こども園井波にじいろ保育園（H25.4開園）
 - ・福光南部あおぞら保育園（H25.4開園）
 - ・（仮称）福光中部統合保育園（H26.4開園）
 - ・（仮称）福光東部統合保育園（H28.4開園）
- ②児童の居場所づくりを推進します。
- ・地域主体の放課後児童クラブへの財政支援
 - ・児童館の整備

☆子育て家庭への支援

- ①子育て支援サービスを充実します。
- ・子育て支援センターやファミリーサポートセンターの機能充実
 - ・第三子以降の保育料無料化の検討
 - ・こども医療費助成制度の年齢拡大の検討
- ②児童・子育て家庭相談を充実します。
- ・発達障害児や「特別な支援が必要な子」の専門的支援機関の誘致

☆学校教育の充実

- ①学校施設・設備の整備を進めます。
- ・平、上平統合小学校建設（～H26）
 - ・福光東部小学校の耐震化及び大規模改修（～H26）
 - ・福野中学校の耐震化及び大規模改修（～H26）
 - ・井波小学校の改修（H27～）
 - ・井口中学校の改修（H27～）
- ②「確かな学力」の育成をします。
- ・「とやま型学力向上総合支援事業」の推進
 - ・臨任講師、スタディメイトの充実
 - ・教員の授業力向上に向けた研修の実施
 - ・小中学校への A L T 派遣による外国語活動の充実
- ③健やかな心と体の育成をします。
- ・ふるさと教育推進事業への助成
 - ・スクールカウンセラー等の相談体制の充実
 - ・社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業の実施
 - ・学校給食の充実（食育 地産地消）

☆農業・農村の振興

- ①農業経営基盤を強化します。
 - ・特色ある農産物、加工品の育成、普及による農業経営基盤の改善
 - ・補助事業の活用による営農環境の改善（農機具購入補助）
 - ・緑の分権改革事業による農業ビジネスモデルの構築
- ②農村環境の保全整備を進めます。
 - ・農業農村事業の実施による農村環境の保全
 - ・有害鳥獣対策の充実による農村環境の保全
 - ・エコビレッジによる新しい農村環境のモデルケースを提案
- ③食育・地産地消を推進します。
 - ・地元の食材を使った学校給食、なんとB級グルメ等を活用した地産地消の推進

☆交流観光の振興に力を注ぎます。

- ①観光資源の開発と活性化
 - ・交流観光まちづくりプラン策定と実践
 - ・オリジナルアニメ制作と活用
- ②滞在型・体験型観光を進めます。
 - ・南砺里山博等着地型観光の実践
 - ・滞在型観光の推進
- ③商工業、中心市街地活性化を推進します。
 - ・がんばる商店街支援事業
 - ・Facebookを利用したF&Bシステムによる南砺市商品の販売支援
 - ・空き店舗、空家、空き倉庫等の調査を行い、HPから情報発信し利用を促進

☆工業の振興と企業誘致

- ①企業立地を促進します。
 - ・企業誘致のさらなる推進（誘致先への支援、環境整備）
- ②起業（家）支援に力を入れます。
 - ・インキュベーター事業による起業家支援センターの建設
 - ・起業家育成支援事業補助金の継続
 - ・ソーシャルビジネス支援
- ③新産業の創出を支援します。
 - ・特産加工品等の地域産品を活用した事業の推進
 - ・エコビレッジ、小水力発電の実施に伴う新産業の創出

☆雇用の確保と創出

- ①就業・雇用対策に力を注ぎます。
 - ・ブライダル商品開発支援の継続
 - ・国の緊急雇用事業の活用
 - ・新産業創出に伴う雇用の創出
- ②高齢者や障がい者等の雇用を確保します。
 - ・シルバー人材センターへの補助及び活用
 - ・障がい者通所施設支援

3、「共生」協働・環境

高度化・多様化する市民ニーズや新たな地域課題に対応し、地域の特性を活かした個性豊かなまちづくりを行い、住む人、集う人が互いに支え合い、助け合う昔ながらの地域コミュニティが維持できるよう協働のまちづくりを進めます。また、自然エネルギー、再生可能エネルギーなど地域資源を最大限利活用し、資源や自然、人、いのちを大切に、共生するまちを次代に引き継ぎます。

☆循環型社会の構築

- ①環境基本計画を推進します。
 - ・ H25よりスタートする環境基本計画に基づく施策の実施
- ②エコビレッジ構想を推進します。
 - ・ エコビレッジのハード整備及び本格稼働
- ③バイオマスの利活用を推進します。
 - ・ エコビレッジ本格稼働を踏まえた利活用方法の検討
 - ・ ペレット・薪ストーブ（ボイラー）の普及推進
- ④新エネルギーの利活用を推進します。
 - ・ エコビレッジの整備に伴う新エネルギーの検証及び実用化

☆協働のまちづくり

- ①南砺市まちづくり基本条例を徹底的に周知と遵守をします。
 - ・ 市民参画と情報共有の徹底
- ②協働事業をさらに進めます。
 - ・ 協働のまちづくりモデル事業及び協働のまちづくり提案事業の拡充
- ③まちづくりに参画する市民団体等への支援をします。
 - ・ 協働のまちづくり支援センターの機能強化

☆コミュニティ活動への支援

- ①自治振興会を核とした住民自治組織との連携を強化します。
 - ・ 「まちづくり交付金」による地域内分権制度の推進
- ②地域拠点施設の整備を進めます。
 - ・ 地区公民館大規模改修事業の推進

●個別分野の約束と想い

◎真の豊かさを感じることでできるまちをつくります。

生まれてきて良かった。住んでいて良かった。これからも住み続けたい。と本気で思える。自然と文化豊かな田舎を心から誇れる。がんばった人が幸福を実感できる。そんなまちをつくります。

◎市民の皆さんと協働で満足度の高いまちづくりを進めます。

今年7月1日施行の「南砺市まちづくり基本条例」を遵守します。本条例は、市民が主体となってまちづくりを進めるための仕組みや基本的なルールを明らかにしたものです。「市民が主体の原則」「情報共有の原則」「協働の原則」の3つをまちづくりの基本原則として定め、協働して魅力ある住みよい南砺市を築いていこうとするものです。

地域の課題、問題点を自ら認識し、自ら解決していく仕組みとして「地域内分権制度」をさらに推進していきます。

◎地域包括医療ケアシステムを構築します。（保健・医療・介護福祉・生活支援）

本年4月より従来の医療局に地域包括センターを組み入れ「地域包括医療・ケア局」を設置しシステム構築の第一歩を踏み出しました。高齢化が進む我が市において住民やその家族に対し保健、医療、介護福祉、生活支援が包括的に関わることでできる仕組みづくりを進めます。

また、障がい者福祉についても施設の充実や職場の確保等多様化するニーズに対応できる体制づくりを進めます。

◎安心して暮らせる確かで温かい地域医療を目指します。

富山県全体、あるいは砺波医療圏内の機能分担も視野に入れながら市内においても、公立2病院と家庭地域医療センター、診療所の連携と機能分担を進めながら、確かで温かい地域医療を目指していきます。砺波医療圏内の公立病院や南砺市内診療所も含めてカルテ情報の共有化を図り、更に連携を深めてまいります。

平成21年度に策定した公立病院改革プランについて有識者等からなる検討委員会を設置検証し、プランの修正を図り、その中で今後の病院、診療所運営について検討をします。

市内の2病院はそれぞれの役割を大きく存続すべきですが、病院相互、診療所といままで以上にみなし1病院化を進め、共有できる診療科目においては機能分担も検討していきます。公立病院機関の安定した継続が重要であり、病院事業の健全化と診療体制の充実に努めます。

医師、看護師、医療スタッフの確保も総合医養成プログラムや奨学金制度等の拡充を図りながら積極的に進めてまいります。

◎まちづくりは「ヒト、モノ、コトづくり」。力を入れます。

以前からまちづくりはヒトづくり、モノづくりと言われ、南砺市としても取り組んでまいりました。そしてマーケティングとか、サービスとか、マネジメントも加味したビジネスモデルとして考え、効果、成果をあげる「コトづくり」が必要となります。

◎安全で安心して暮らせる地域を築きます。

大災害や多様化する災害に対応するために本年4月に砺波市、小矢部市と3市での砺波地域消防組合を設立しました、そして市内の署所も総合的な消防力を高めるために1基幹署と1出張所に統合するという方向性は示しましたが、基幹署には防災センターも併設し、救急等の到達時間短縮のために道路改良や、消防団との連携、防災無線やあらゆる情報伝達の整備、消防用資機材等の充実等総合的

に拡充し、安全、安心の確保を図ります。

また、地域防災、交通安全等にも地域住民、関係機関との連携により総合的に取り組んでまいります。

◎子どもは地域の宝。大切に温かく育てます。

「子どもは家庭で育て 学校で鍛え 地域で磨く」を実践します。三世帯同居を奨励し様々な知恵を生かした心豊かな生活を継承したいと思います。

保育園の統合を計画的に進めるとともに、多様化する保育ニーズや放課後児童保育、児童クラブ等を拡充していきます。

学校教育は富山県と連携を強くし、施設の充実、教育環境の整備、過疎地においては複式学級の解消や地域で特色ある教材を利用した南砺市らしい教育環境を創ります。

発達障害児やいわゆる気になる子の対応についても保護者、保健師、保育園、行政、学校と連携、情報共有する仕組みを作るとともに、療育・相談支援センター（仮称）の設置を目指します。

◎ICT情報通信を利用したまちづくりを進めます。

合併以来全国でさきがけて整備を進めてきたのが地域ICTです。企業のテレビ会議システムを構築した「対面型オフィス連携システム」現在は市役所内でもテレビ会議等に使用しています。そして「遠隔医療コンサルテーションシステム」また、お年寄りの声かけや買い物支援、情報取得に「そくさいネット ふれiTV」の整備の他、ホワイトスペースを利用したエリア放送、コンビニによる証明書交付も進めています。

今後はさらにこういったインフラを利用し有事の情報伝達はもちろん、観光情報発信、行政情報発信等に広く利用していきます。

また、ツイッターやFacebookといったソーシャルネットワークシステムを利用した、きめ細かな情報発信、物産、観光商品販売等も含め多方面で利用していきます。

◎地域経済の活性化に真剣に取り組めます。

（交流観光）

2年前から進めてきた南砺里山博。パビリオンの無い博覧会として現在の南砺市の素敵なヒト、モノ、場所を再発見する企画として成長してきました。それらをふまえて現在「交流観光まちづくりプラン」を策定中であります。単なる薄っぺらい観光ではなく観光業のみならず、農業、林業、企業、環境、福祉等様々な方々が関わり、ヒトを呼ぶ事で大きな力にしていくそんなまちづくりをすることによって第六次産業が生まれ、ブランドが生まれまち全体が元気になる南砺ツーリズムを完成させたいと思います。

南砺市には素敵な魅力がたくさんあります。誇りを持って住み続けるヒトがいます。そんな場所にまたヒトが集います。交流人口を増やし、地域経済の活性化に繋がります。

ヒトが集まる地域にはビジネスが生まれます。雇用が生まれます。そういった方々を支援できるような、トップセールスできる仕組みを創ります。

「真の日本」として広域観光を進めることにより海外を始め広くPRをし、新幹線時代に大きな交流観光ビジネスを生み出します。

（農林水産業 商工業）

南砺市の基幹産業である農業と林業は景観保全、水源かん養等多面的機能を考えると大変重要な産業です。さらに近年地産地消の安全な農作物とその加工品については食文化も含めて都市部から注目されています。こういった農産物、林産物、果樹や加工品、を市内の学校等の公共施設はもちろん県

外にも販売網の拡大をはかり農業者、林業者にとっても魅力ある産業となるよう支援をします。

また、中心市街地活性化事業や空き店舗対策事業にも支援を拡充してきていますが、高齢化の進む市街地でも暮らしやすいよう商店街と行政が協働で活性化していきたいと思います。

既存の市内企業の皆さんへの支援や企業立地、誘致についても支援の拡充を図ってきていますが、さらに就労の場の確保のみならず高度な技術力ある企業や新規参入部門についても支援を検討していきたいと思います。

◎芸術・文化は南砺の宝。応援します。

南砺市は平成22年度に文化庁から文化芸術創造都市の称号を頂きました。37年にわたる世界的演出家 鈴木忠志氏の利賀での活動や、ワールドミュージックの祭典スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド。世界遺産五箇山とそこに伝わる五箇山民謡。井波彫刻や五箇山和紙といった伝統工芸。夜高や曳山といった伝統的祭り。芸術文化を含め更に支援を拡充していきます。

◎エコビレッジ構想で総合的なまちづくりに取り組みます。

小さな循環、地域の広がりの中で、「環境保全・エネルギー」つまりはエネルギーも自給を考えながら「第一次産業 農林漁業」「健康・医療・介護・福祉」「教育・次世代育成」といういのちの4分野を連動させ、その4分野の中に自立循環型のソーシャルビジネスを構築していきます。「小さな循環と連動」を進めながら、総合的なまちづくりに繋げていきます。そしていのちの持続に繋げることが可能な地域・まちづくりを進めていきたいと思います。

◎住民自治、地域コミュニティー機能を強化します。地域内分権制度の確立。

地域コミュニティー機能の更なる強化を図るためにも市職員である地域づくり支援員との連携を更に密にし、地域内分権制度の拡充を図り、地域別計画にそった事業実施を支援していきます。

また、協働のまちづくり支援センターも二カ所設置し、更に市民力、地域力が高まるような情報共有、提案協働事業の拡充をはかります。

◎職員の意識改革を進め。行動する市役所を実現します。

3 UP **スピードアップ** **モラルアップ** **イメージアップ**
1 Down **コストダウン**

行財政改革と事業の見直しを進めます。

総合計画のPDCAサイクルを確立します。

市民目線、市民が主役の行政運営、協働のまちづくりを更に進めます。

時代にふさわしい市役所職員人材の確保と養成をします。

市長は更に南砺市のトップセールスマンとなります。